



# 研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団  
八王子研修農場  
(発行責任者)  
農場長 小寺孝治  
(無料)

## 猛暑日が続く中、みんな就農に向けて真剣に取り組む

# 夢の計画実現に向けて『Let's Try!』

7月以降も記録的な暑さや豪雨等を受ける中、みんな頭と体を使いながら、真剣に農作物と向き合い、それぞれ自分に合った富農スタイルづくりに取り組んでいる。

### 夏作の振り返りと秋冬作に向けて

今夏は記録的な暑さの中で、みんな毎日汗水流しながら必死に栽培管理や荷作り、販売等に精を出してきた。その間には各種講義、農家派遣研修、農家視察等々、日々充実した研修生活であったと思う。毎年、異常気象や温暖化が叫ばれる中で今夏の経験は将来に向けても大きな糧となるだろう。



夏野菜を中心に7月にラムラルシェに出店

保冷することが大切だ。自分自身の体調管理も大事。熱中症対策は無論のこと、十分な睡眠と栄養を摂って疲労を蓄積させないように努めることが大切だ。

一方、秋以降は日増しに日が短くなり、気温も徐々に低下してくる。多くの農作物は生育適温の時期から生育が緩慢となる低温期に収穫することが多い。このため比較的収穫に追われることや、鮮度保持に気を使うことは少なくなる。病害

虫や雑草の発生も減ってくるが、今後は凍霜害等への寒さ対策が必要になったり、作物が凍結時には収穫時間を午後にするなど作業スタイルを変えざるを得ない。

秋から冬に向けては、農作物の育つ様相がかなり変わる。じつくりと育つため、葉の厚みや色合い、食味までも驚くほど変化する。こうしたこともしっかりと体感・実感して将来の作付け計画等に反映してもらいたい。

### 研修生の今

#### 最終調整をかける2年生

2年生は、各々自分の就農モデルでの実証栽培を行っている。自分で責任をもって栽培管理や収穫、荷作りなどを行うが、なかなか計画通りに上手くいかないことが多い。それらも想定内として、限られた労力と時間の中で一定レベル以上の農産物を計画的に安定して生産・出荷するため、先人達の知見も含め必死に経験値を高めているところだ。

今まさに営農に向けての労力配分、省力機器の導入、出荷形態などの熟考を重ねており、就農後の品目選定や作付け面積などに反映できればと思っている。

また、2年生は何度も見

直してきた就農計画案を9月2日の新規就農希望者経営支援会議でそれぞれプレゼンを行い大方了承された。その後は、東京都農業会議のご協力も、それぞれ就農予定である各市の農業委員会に順次説明を行い、農地のあつせんや権利設定等の協力依頼や地権者との契約調整等を行っている。なお、就農に向けてこの時期に就農予定地の市内4期生の2名が転居もしている。

#### 就農像を熟考する1年生

入講から半年が過ぎ、栽培管理実習や講義等を受け、農家として生きる道り甲斐や大変さを感じている時期だと思つた。また、暑い夏を乗り越えられたことも大きな自信となっている。今まではサラリーマンだったとは思えないほど日に焼け、体もだいぶ引き締まってきた。

9月からは初めての秋野菜づくりの実習に加え、個別に農家派遣研修も始まっている。おそろしく、日々新しいことを体感しており、頭が飽和するほどフル回転だと思つた。このため、指導員はじめ同期や先輩らとの情報交換を積極的に行い頭を整理しながら自分の就農イメージづくりも開始してほしい。2年間で独立就農

するには、様々な知識と経験が必要だ。とにかく健康管理を第一に、大いに実践経験を積み重ねてほしい。

ご協力に繋がることを願っている。また、研修農場側からも、都内外の先進農家や先輩農家等への視察研修などもさせていただいており、ご協力をいただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

### これまでの天候

第6期生の募集は9月13日から11月8日まで。この間の現地説明会では個別相談も行っているのでもせひ気軽にお越しください。10月の説明会は4、12、20、30日に実施予定。詳細はホームページをご覧ください。

### 視察関係

この間、小平市や東村山市などの農業者や区市町村の農業関係部署等から多数の来所。研修農場の状況をつぶさに見ていただき、今後さらに新規就農へのご理解

また、八王子は8月と9月に記録的な大雨があり、9月19日には八王子市小比企地区で雹と猛烈な突風により農作物等が壊滅状態になるなど、今後も災害級の異常気象に注意が必要だ。

## 7~9月の主な出来事

- (7月)
  - ・2日 小平市農業経営者クラブ視察、4、10、26日 直売会
  - ・9日 主計部視察、11日 農機資材展、18日 職員研修
  - ・20日 ラムラルシェ、23日 あきる野市挨拶、24日 3期生訪問視察
  - ・フードバンク提供 5、8、10、12、19、22、26日
- (8月)
  - ・3日 就農ツアー①、6日 経営計画プレゼン、7日 日の出町挨拶
  - ・9日 立川市農家挨拶、28日 町田市及び武蔵村山農家挨拶
  - ・29日 就農ツアー②、日の出町農家挨拶、31日 新農業人フェア
  - ・フードバンク提供 2、7、9、16、19、23、26、30日
- (9月)
  - ・2日 就農支援会議、10日 長野県視察、12日 武蔵村山市農業委員会
  - ・13日 多摩青果視察、18日 現地説明会①、19日 八王子農業委員会
  - ・26日 新任研修、21日 立川市農業委員会、28日 現地説明会②
  - ・フードバンク提供 6、9、11、13、20、25、27日

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、YouTubeで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左記のQRコードより可能。

研修農場スナップ

2024年 7~9月



直売会では開始前から多くのお客様に来ていただき、本当にありがとうございました(7月)。



今年から就農した第3期生の圃場見学会を実施。みんな頑張っていました(7月)。



都内生産者等の場内視察風景



都庁職員食堂への出荷  
今年は7月上旬にタマネギ、キュウリ、トマト、下旬にジャガイモ、ピーマン、ナスを総計600Kg以上出荷



財団職員の職場体験研修(7月)



小玉スイカよくできました(7月)



猛暑のため太陽熱消毒を行う(7月)



都内先進農家視察。たいへん勉強になりました(7月)



東京農業就農ツアー(8月)



就農フェアでPR(8月)



実習風景 (8月)



暑い中、抑倒トマトの定植に奮起(8月)



上:タマネギのセルトレイ播種  
左:キャベツの追肥培土作業(9月)  
みんな真剣に作業している



2年生の圃場風景: 将来に向けて独自の作物を試作検討している (8~9月)



秋ジャガの植付(9月)

秋ジャガは種芋をカットすると腐敗しやすいので、必ず種芋を丸ごと植え付けます。



東京多摩青果(株)視察(9月)



長野県トップリバー富士見農場視察(9月)



各種座学でしっかりと学ぶ(8~9月)



上写真: サツマイモの初収穫とタマネギのシーダーマルチによる直播(9月)

左4枚の写真: 9.16小比企地区の雹・突風被害(9月)



寺崎理事ら農場視察(9月)